

「 脚下照顧 」

2025年度 未来創造室
副理事長 加藤 雄大

人は物事がうまくいかない時、他人のせいや環境のせいにしてしまいがちです。誰かのせいにする方が気持ちも楽で、苦しさからすぐに開放されるからです。しかし、楽をして何かを得ることは難しく、その先に成長や達成といったものはないでしょう。うまくいかない時こそ意識のベクトルを自分に向け、己の弱さや不甲斐なさ、苦悩と真つすぐ向き合い、「自分に何が足りないのか」を思考し、行動に反映させていくことが大切だと考えます。

また、どの立場にあっても青年会議所活動は一人ではできません。どんなに素晴らしいことを考えついたとしても、共感し、応援してくれる仲間がいなければ何かを成すことは難しいでしょう。「あなたのためなら力を貸すよ」と仲間から思ってもらえるように、誠実に取り組む姿勢を示していくのと同時に、『どういう自分であることが周囲から応援してもらえる自分なのか』を日々見つめる必要があるのではないのでしょうか。

とはいえ、眉間にしわを寄せて難しい顔をしていては、思考も行動も、仲間との関係性も凝り固まったものになってしまいます。やるべきことや任せてもらったことを一生懸命やるのは大前提として、自分自身が「楽しむ」こと、そして周囲を巻き込んで「楽しませること」を忘れないで欲しいのです。なぜなら、人は楽しいところに集まり、それは大きな力になるからです。

一人一人の努力や苦勞の積み重ね、覚悟を持って前向きに取り組む姿勢、楽しさや苦しさの中で育まれる仲間との絆、これらが大きな渦となりその成果の結晶が青年会議所活動に形となって現れる。この経験こそが、今の、そしてこれからの将来を担う尾道青年会議所に必要な要素だと考えます。

まちのため、ひとのために活動を展開していくからこそ、自分と向き合うことを大切にして活動して参りましょう。

前向きに、楽しく、情熱をもって。